

広報とらつく
新春特集

トラック運送業界における 従業員満足度アップを目指して

運送業は一般的に離職率が高く、また転職経験者が多いといわれている。しかし、事業の安定的な継続を考えた場合、新入社員の確保はもろろん大切なことであるが、現在勤務している社員の満足度を向上させ、離職を食い止めることで、業務が円滑に回り、将来への事業の飛躍に向けた足固めが可能となる。さらに「社員にとって良い会社を作っていく」ことで離職率低下という効果を生み、業務の円滑化に繋がることから、業績をアップさせる。

めっている。そのひとつが、高校新卒者採用の実施である。若くて地元愛にあふれた優秀な人材を獲得すべく、2年ほど前からセミナーやイベント等に参加し、今年度からは高校生対象の求人もスタートさせた。この4月には、フレッシュな人材が同社に入社する予定である。

「新しい何かに社員全員が取り組む、大会までに何度か練習を行い、大会で実践すること、一層社員の一体感が高まるという効果も期待できる。」

成長を実感できる職場環境

第1回
株式会社須賀川東部運送（福島県須賀川市）における取り組み

コミュニケーション強化を通じ
社員の結束力に磨きをかける
社員に対する評価・表彰制度が
成長を自覚させるきっかけに

輸送品質向上の力を握る「社員の質」
品格ある社会人の育成に力を注ぐ



吉田 雅弘 社長



5温度帯倉庫を整備し、冷凍・チルド食品輸送などに取り組む須賀川東部運送

須賀川東部運送は、福島県から関東などへの長距離輸送を行う一方、県内向けの冷凍・チルド食品輸送にも注力している。また、5温度帯（暖房・常温・定温・冷蔵・冷凍）倉庫を整備するなど、倉庫事業にも積極的に取り組んでいる。

さて、吉田氏は平成22年4月に同社の社長に就任した。同社の経営に際しては、先代である吉田孝二氏の経営方針を継承しながらも、「新しいカラーを出していきたい」と考えたという。その一環として、同社における事業運営のモットーに「進化」「人間らしさ」「品質」「人質（じんしつ）」「高品質物流の達人」を掲げた。

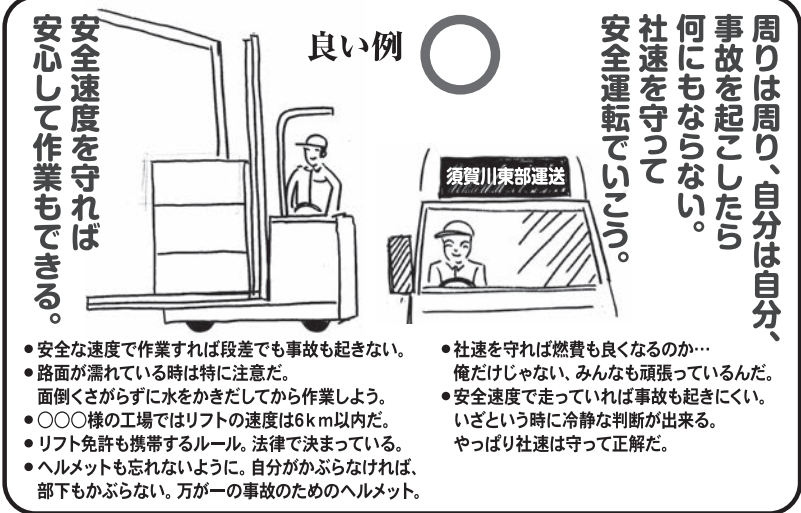
「昨日までの常識は今日からの非常識」という意識をもち、時代の変化に対応しながら品質改善を推進し、会社が変わり続けて進化していくことで経営の安定を実現させる。そのためには、社員全員が業務に対する意識を変え、「品格ある魅力的な社会人」へと成長し、日々知恵を絞って創意工夫を続けていく必要がある。つまり、「輸送品質向上の力を握るのは、同社で働く社員の質の向上である」と同社では位置付けているのである。そうした観点から、同社ではかねてから同社の輸送品質を支える「人」の育成に力を注いでいる。

図1

運輸安全 社速を守ろう!



- 急旋回しても、この間は大丈夫だった。荷崩れしない。• デジタコを見ても事務所は見抜けない。シメシメ...路面の段差は俺の責任じゃない。• 一般道でも高速道の設定...これで80kmまでOKだ!うるさい警告音も鳴らないぞ。ラッキー!!
- 事故って言い訳ができるぞ! やっちゃえ~
- 路面が濡れていても平気。
- 路面が濡れていても平気。
- めんどくさいからそのままやっちゃえ~



- 安全な速度で作業すれば段差でも事故も起きない。俺だけじゃない。みんなも頑張っているんだ。
- 安全速度で走っていれば事故も起きにくい。いざという時に冷静な判断が出来る。
- やっぱ社速は守って正解だ。

⑤ 社員の一体感を醸成させる「ハイ!」訓練・服装点検

同社では、大会開催時に限らず、日頃から「ハイ!」訓練・服装点検を推奨している。社員全員で同じ動作を行うことで、社員の一体感を生み出している。

「ハイ!」訓練では、2人の社員（AさんとBさん）がお互い向き合い、まず握手する。Aさんは「Bさん!」と声をかけると、Bさんは「ハイ! Aさん!」とそれに応

